

財政用語

ひとくち解説

○歳入に関する用語

依存財源 県や国から交付されるお金や借り入れ金

自主財源 市が単独で賄うことができるお金

地方交付税 所得税など、国が徴収した税金の中から、市の財政状況によって配分されるお金

国・県支出金 特定の事務・事業のために国や県から交付されるお金

市債 大きな事業などを行うために、国や県、金融機関などから借り入れるお金。市の借金

市税 市民の皆さんが市に納める税金（市民税・固定資産税・軽自動車税、都市計画税など）

諸収入 貸付金の返済や文化会館や樹海ドームの事業収入など

使用料・手数料 市民の皆さんが市の施設を利用するときに支払うお金や市民課、税務課などの窓口で支払うお金

○歳出に関する用語

義務的経費 人件費、扶助費、公債費など、支出が義務付けられている経費

投資的経費 道路、学校などの社会資本を整備するための経費

人件費 議員や市長など3役、職員の給与などの経費

扶助費 老人、児童などの福祉施設への措置費や医療費などの経費

公債費 借り入れた市債の返済に使うお金

補助費等 市立総合病院、広域市町村圏組合や各種団体などへの補助金、交付金

物件費 施設の維持修繕料、管理委託料など、事務的に必要とされる経費

繰出金 国民健康保険や介護保険などの特別会計に繰り出すお金

貸付金 障害者のかたや高齢のかたが家を改築する際の貸し付けなど

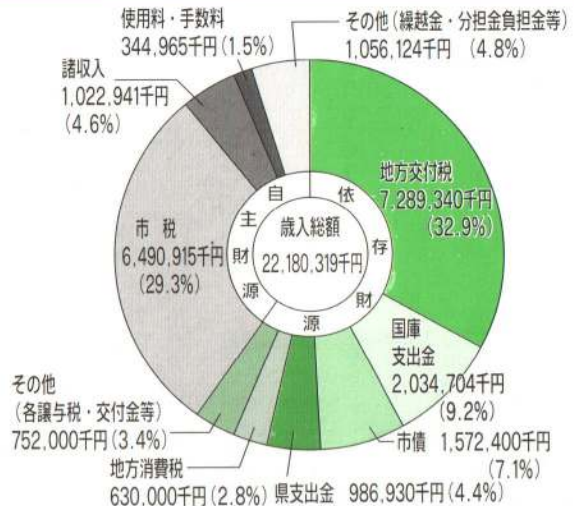
一般会計の総額は

2.3%増の221億8,032万円

構成比でみると…

歳入

市税、地方交付税が減少

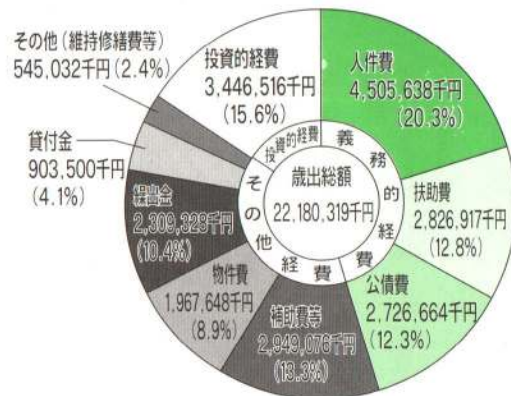


前年度と比べますと、市税では、市民税は特別減税と法人税の改正を考えて、5.4%（1億4,513万円）の減少となりました。固定資産税は、農地から宅地への転用、新築店舗等の増加により、2.1%（6,291万円）の増となりました。市税全体では1.0%（6,409万円）の減少を見込んでいます。

また、地方交付税では、今年度から制度が改正になり、国からの交付税の不足分を市も負担することに伴い、臨時財政対策債の3億2,000万円で賄い、財源に組み入れました。

歳出

福祉に関する経費が増大



現在の社会情勢は少子・高齢化、国際化の進展や核家族化の進行、さらには個人の価値観の多様化などにより、各自治体にはきめ細やかな対応が求められています。

市では、第2次行政改革大綱をもとに、経費の節減と予算の厳正な執行・合理化を図りながら事業を進めていきます。また、今後は市民生活基盤の充実を目標としながら、平成19年の国体に向けた整備事業、学校の改築整備、道路・街路整備事業など、将来を見据えた事業に対しても計画的に取り組んでいきます。